

## 会 議 録

会 議 名	第2回第6次嵐山町総合振興計画審議会 及び 第2回第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会					
開 催 日 時	令和2年11月17日（火）		開 会	13時30分		
			閉 会	16時05分		
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議事録署名人の指定 4 <第1部>第6次嵐山町総合振興計画審議会 議 事 (1) 総合振興計画素案について (2) その他 5 <第2部>第2期嵐山町総合戦略策定委員会 議 事 (1) 総合戦略素案について (2) その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数	0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	権田 活一	出席	副会長	高坂 英夫	出席
	委 員	嶋本 佳則	出席	委 員	小澤 秀	欠席
	委 員	吉野 敦	出席	委 員	荒井 忠正	出席
	委 員	関根 盛敏	欠席	委 員	青木 裕子	出席
	委 員	宮本 紀子	出席	委 員	田中 操	出席
	委 員	荒神 文彦	出席	委 員	久保田 尚	欠席
	委 員	石川 博幸	出席	委 員	佐藤 輝武	出席
	委 員	山口 聡	出席	委 員	鹿倉 貞二	出席

	委 員	武城 文明	出席	委 員		
事 務 局	山岸課長			青木副課長		
	藤野主席主査			田邊主事		

次 第	顛 末
1 開 会	山岸地域支援課長
2 あいさつ	<p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は2回目の第6次嵐山町総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会です。委員の皆様にはお忙しいところありがとうございます。今回は今後10年を見据えた総合振興計画、まち・ひと・しごと総合戦略の素案が示された。町民より信頼される、まちの発展のための指針となるよう、計画作成に向けて委員各位のご意見をよろしくお願いしたい。</li> </ul>
3 議事録 署名人の指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、今回会議録署名委員については吉野敦委員、荒井忠正委員にお願いしたい旨を説明。了承された。</li> </ul>
4 議 事 (1) 総合振興計画 素案について	<p>&lt;第1部&gt;第6次嵐山町総合振興計画審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権田会長が議長となり、議事進行を行う。</li> </ul> <p>■第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、第1章について説明。</li> </ul> <p>&lt;第1章 意見なし&gt;</p> <p>■第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、第2章について説明。</li> </ul> <p>(荒井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町にとっては「人」が最も重要。人が伸びれば町は発展する。そのためには「教育」が最も基礎となる部分である。教育によって価値観が定められ、高く目標をもっていくことで町は自然に発展していくだろう。</li> </ul> <p>(宮本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像については「ともに学び育む視点」が入っており、とても素敵なスローガンであると感じた。</li> </ul> <p>(武城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの将来像の中に、国の方針でもあるスマートシティ、コンパクトシティなどの言葉を入れた方が良いのではないかと。例えばコンパクトシティ、災害時には集まって住んでいた方がよりサポート出来る。スマートシティやIT等といった若者向けの言葉があった方が時代傾向として良い。</li> </ul> <p>(田中委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像を読んで、古風な印象を受けた。若い人が流行を作って</li> </ul>

いくため、若い人受けするスローガンが大切である。

(権田会長)

- ・若い人の共感を受けるようなスローガンが出せないかという意見があったが、事務局意見はあるか。

(事務局)

- ・ご意見等を参考に、若者に共感できるようなものを検討する。

### ■第3章

- ・事務局より、第3章について説明。

(権田会長)

- ・重点プロジェクトは具体的なプロジェクトを新しく立ち上げるのではなく、第4章以降の施策に対し重点的に行うものという考えか。

(事務局)

- ・その通りである。初めは担当課では対応しきれないところを複合的に対応していくという考えでスタートした。P.15の分野ごとのまちづくりのCS分析で第1象限「改善すべき項目」となった主な項目を重点プロジェクトへ位置付け、第2象限「評価が高い項目」へ導いていくという考えである。

### ■第4章

#### 【第1節 協働のまちづくり】

- ・事務局より、第1節について説明。

(宮本委員)

- ・「協働」ではなく、同じ立場で心を合わせて助け合い、共に仕事を一緒にするという意味がある「協同」を使ってはどうか。

(事務局)

- ・ご意見を参考に、適切な表現を検討させていただく。

(嶋本委員)

- ・P.1-9 男女共同参画について審議会での女性の登用率の目標値が35.0%になっているが、町には国立女性教育会館もあるので、もっと数字を上げて良いのではないか。

(事務局)

- ・男女共同参画プランの目標値を設定している。来年度はプランの改定予定なので、目標値についても意見を参考にさせていただく。

(青木委員)

- ・P.1-7の1)について、広報は充実した内容になっているとは思

う。今後も読みたくなる・手に取りたくなる広報を作っていていただきたい。

(事務局)

- ・今後も読みやすい、読みたくなる広報を作っていきたい。

(鹿倉委員)

- ・町のホームページは広報が独自にやっているのか、業者に頼んでやっているのか。

(事務局)

- ・CMSという仕組みを使っており、業者からシステムをいただいている。フォーマットは業者、それぞれのページは各担当課が更新している。

(鹿倉委員)

- ・P.1-8「人権尊重都市宣言」を町したのか。

(事務局)

- ・平成6年に決議しており、宣言の内容は継続している。

(嶋本委員)

- ・P.1-5 マスメディア、テレビ等の影響は大きい。ラベンダー園もオープンしたての頃は、バスがガラガラだったが、ニュース等で取り上げられた途端に混みあう状態となった。上手く町をPRしていくには、マスメディア、ホームページ等が良いのではないか。今回ホームページを見て、初めて知ったことも多い。町で実施しているサービスの一覧など、町へ住みたいと考えている人に対しても見やすく、わかりやすいホームページを作りたい。

(権田会長)

- ・時折ホームページを見るが、自分の知りたい情報が見つけないと思った。これからはスマートフォン等で見る人も多い。分かりやすいホームページを検討いただきたい。

(事務局)

- ・埼玉県内で合計特殊出生率が滑川町に次いで高いのが横瀬町。統計資料等を見ても原因は見あたらなかったが、ホームページをみると、子育て支援のように、対象向けのサービスが探しやすくなっている。こういったことも、合計特殊出生率に影響しているのかもしれないので、参考にしていきたい。

## 【第2節 文化・学びのまちづくり】

- ・事務局より、第2節について説明。

(権田会長)

- ・ P.2-3 5) 子育て環境への取組は重点プロジェクトにもなっているため、「努めます」より「推進します」等という表現を検討いただきたい。

### 【第3節 支えあうまちづくり】

- ・ 事務局より、第3節について説明。  
(田中委員)
- ・ P.3-5 6) 不妊検査・不妊治療への経済的な助成も重要だが、相談出来ずに悩んでいる人も多い。相談しやすい環境なども検討いただきたい。  
(事務局)
- ・ 担当課に相談し、文言等を検討する。  
(権田会長)
- ・ 重点プロジェクトにも上げている項目なので、ぜひ検討いただきたい。

### 【第4節 自然が生きるまちづくり】

- ・ 事務局より、第4節について説明。  
(鹿谷委員)
- ・ P.4-7 基本方針ではごみの減量化に触れているが、ごみに関する指標は現状値と目標値が同じ数値というのはいかがか。常識から外れている。目標値については再度検討をするべき。  
(事務局)
- ・ 今回はごみの総量から町民一人1日当たりの量に変えている。一人当たりの排出量は大きく変わらず、現状維持となった。町の取組の中で減少させる必要があるかと思う。再度担当課に確認し、検討したい。  
(権田会長)
- ・ P.4-7 に関して地域によっては外国人の世帯が増えてきており、ごみの出し方等で問題となっている。きちんと理解が出来ていないのではないか。外国人世帯への周知に向けた取組については何かやっているのか。  
(事務局)
- ・ 転入の際等に、外国人の方の世話人には説明しているが充分ではないという話もいただいている。担当課で再度検討していきたい。
- ・ 外国人登録者は、平成28年に298人、令和元年4月には607人で2倍、割合も3.4%となっており、毎年増加している状況。

住民サービスの意味合いでも外国人の方々のことも気にかけていく必要がある。また、転入時に配布するゴミカレンダーは英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語と多言語化している。

【第5節 安全・安心のまちづくり】

- ・事務局より、第5節について説明。

(嶋本委員)

- ・P.5-8 道路の整備。駅西口の再開発や学校の統合に合わせて、道路や歩道整備などを進めてほしい。県外に住んでいたが、子どもが産まれて菅谷に戻ってきた知り合いがいる。駅まで歩ける、学校が新しくなるということで決めたそうだ。新校ができることは、移住への有力な情報になり得る。新しく出来た「みなみ寄居駅」に新校をアピールする看板をつけるなど、学校と合わせたまちづくりを是非やっていただきたい。
- ・P.5-12 菅谷辺りの高齢者は買い物が大変不便になっている。買い物難民のような状況が出てくる可能性もあるので、高齢者のことを考えたまちづくりも考えていく必要がある。

(事務局)

- ・駅の開発はまちづくり整備課、学校については教育委員会事務局が中心となっているので、一緒にやっていければと思う。学校に関する情報発信は担当課を通じ、町としても積極的にやっていきたい。

(荒神委員)

- ・全体的に、指標についてはこれで良いのかというものがある。例えば、P.4-4 公園の充実に対する指標として「子どもの遊び場の満足度」とあるが、遊び場の満足度は子どもと大人の観点で異なる。P.5-7 の地域の個性あるまちづくりで目指す指標が「一般住宅の耐震化の割合」となっているが、施策内容の一部でしかない。また、駅前再開発については様々な部分が当てはまると思うが、総合的にはどの分野に入るものなのか分かりにくい。事業者向けか住民向けかでも変わってくるし、指標を設定しづらいものも多いと思うが、適切な指標の設定を見直していただきたい。方針の部分はシンプルで分かりやすい。指標と施策が整合しているか考えていくと更に分かりやすいものとなる。

(石川委員)

- ・P.5-7 武蔵嵐山駅周辺の「西口は歴史・文化と調和を図る商業地、東口は個性豊かな商業地」の意味がよく分からない。町有地を含めて開発の計画があるのか、ロータリー中心に開発を進めて

いくのか教えていただけると、今後の参考になる。

(事務局)

- ・指標については整合しているものがあればいいが、行政の場合は数字では表せない部分もある。前回の総合振興計画は指標の数が多かったが、今回は出来る限り方針と合っていて、よくわかるものを選んで貰うよう各課にお願いした。無理やり入れた部分もあるかと思うので、ご意見を参考にもう一度見直したい。

(宮本委員)

- ・P.4-2の自然と生きるまちづくりで、現在オオムラサキの森は荒れ果てていて入れないような現状。適切に保全・管理していくには、お金が伴わないと、ボランティアだけでは難しい。保全・推進という部分にはその面も含まれているのか。活動センターの内容は充実しており、子どもたちにとっても良い場所である。ぜひ活用を進めるためにも検討をしてほしい。

(青木委員)

- ・関連して、現在のボランティア数が800人になっているが、今まで在籍した延べ人数なのか、どのような集計をしているのか。

(事務局)

- ・里山維持管理として、オオムラサキの森だけではないボランティアも入っている。令和元年度の実績は676人で、今後はライオンズクラブにもご協力いただけるということで800人という目標となっている。

(宮本委員)

- ・自然はいつでも動いている。今後は年間を通して日常的に見守り・管理するなどのボランティアも考えてほしい。過去の将来像「飛翔する蝶の里」を目指したときは、蝶だけでなくオオムラサキが育つ嵐山の森を一緒に育てようという、子どもと人も育てるという意味合いがあった。人が集う魅力的な場所にしてほしい。これを機会にそのような施策が入れば嬉しい。

(事務局)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。ボランティアを募集するのも自然に興味をもっていただけるような情報発信をしていきたい。また町外の方々に関わってもらえるようにするのもやり方の一つ。その辺り含めて担当課と相談していきたい。

#### 【第6節 推進方策】

- ・事務局より、第6節について説明。

(佐藤委員)

<p>(2) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P.6-2 SDGs については企業でも取組を進めており、町で活動をされている企業と連携を図ることが大切である。企業でも地域貢献ということで、ボランティアを意識している。</li> <li>・ 花見台工業団地は現在コロナ前の業績に戻ってきているが、外国人の雇用が出来ずに人手不足となっている所もある。雇用についても町と考えていかなければならないだろう。 (山口委員)</li> <li>・ 町として重点的に取り組むものを分かりやすく示して欲しい。 (事務局)</li> <li>・ 今までの意見で反映できる場所があれば、反映していきたい。 (武城委員)</li> <li>・ 数字はやはり積算根拠を載せるのが当然である。</li> <li>・ 「協同」という字について勉強させていただいた。50 歳以下の人たちは意識的に何でも「協働」を使うので、宮本委員がおっしゃった意味はわかっていない人も多い。どちらを使うかは事務局に委ねたい。</li> <li>・ 意見を聞いていると、企業との連携が大切。企業に出向いて嵐山町を伝えるなど。オオムラサキのボランティアについても、大学等と協働し、学生に動いてもらう方法等もある。若い人は知らないというだけ。内容を理解すれば行動する。</li> </ul> <p>■その他 なし</p>
<p>5 議 事 (1) 総合戦略素案 について</p>	<p>&lt;第2部&gt;第2期嵐山町総合戦略策定委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き権田会長が議事進行を行う。</li> </ul> <p>■総合戦略素案</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第2期嵐山町総合戦略の策定にあたって</li> <li>2 第2期嵐山町総合戦略の体系(案)</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より、1、2の説明。 (荒井委員)</li> <li>・ P.5-3 基本目標3を充実していただくと、人口が増加する。そのためには、補助金交付等、移住したいと思えるものをお願いしたい。また教育に力を入れていただくことが大切。 (事務局)</li> <li>・ 今後策定する上でご意見を参考にしていきたい。教育については、教育振興基本計画という大きな計画があるので、総合戦略からは一部省いていることをご了承いただきたい。</li> </ul>

### ■ 3 第2期嵐山町総合戦略

#### 【基本目標1】

- ・事務局より、基本目標1について説明。  
<意見なし>

#### 【基本目標2】

- ・事務局より、基本目標2について説明。  
(田中委員)
- ・P.8の指標で用いられているツイッターのフォロワー数について、実際に嵐山に関心を持っている人の数とは言えない。年々増えているとはいえ、喜ぶ数字ではないと感じる。  
(事務局)
- ・町でもフォローが増えれば情報発信しているという認識があった。ご意見を参考に、中身に手の込んだ発信を考えていきたい。  
(荒神委員)
- ・P.9 基本目標2は人の流れをつくるというテーマだが、取組内容が観光に寄り過ぎて、農業の施策が少し薄い印象がある。町としてどのような農業に取り組んでいきたいかを入れていただければ我々企業もご協力できるし、または新しい事業として取り組むこともできるかと思う。
- ・KPIについて、補助金の事も理解しているが、総合振興計画とリンクした形で進めるということなので、令和7年度の目標値も立てた方が良い。また、総合振興計画のどことリンクしているのかを総合戦略内に含めた方が良いのではないかと。  
(事務局)
- ・総合振興計画のどこに当たるかが分かりづらいため、表現の仕方等も含めて工夫したい。また、目標年度が令和7年ではないものに関しては毎年度検証しているので更新していく予定。  
(嶋本委員)
- ・テレビ・マスコミ等の影響力は大きいので、嵐山を知ってもらい、好きになってもらうよう、マスメディアに来てもらう取組があると有効ではないか。嵐山溪谷に行く人が休憩や食事出来るお店がない。町を通過するだけとなってしまっているため、少し考えていただきたい。町民を巻き込んで活性化出来ると良い。  
(吉野委員)
- ・「嵐丸ひろば」の場所等を活用し、遠方からの観光客や武蔵嵐山

<p>(2) その他</p>	<p>駅の東口・西口の利用者が活用できるような観光案内所や物産館を置いた方が良い。会員からもそのような意見もあるので、これからの検討課題としていただきたい。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミの活用について、先日大河の撮影についてSNSで情報を流したところ、すぐに拡散された事例もあった。マスコミの力はとても強いと感じる。こちらについても、担当課に伝え、検討していただく。</li> <li>・「嵐なび」等の活用については、DMOが管理していくことが考えられるので、検討課題としていく。</li> </ul> <p><b>【基本目標3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、基本目標3について説明。 &lt;意見なし&gt;</li> </ul> <p><b>【基本目標4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、基本目標4について説明。</li> </ul> <p>(宮本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略の中では、嵐山町を訪れる人が中心になっている。今住んでいる人の行動が活性化することも大切なのではないか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載については検討したい。</li> <li>・本日欠席の久保田委員より、安全・安心部分について、防災以外にも防犯の要素が必要ではというご意見があったので、追記を検討していきたい。</li> </ul> <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今いただいた意見について、次の会議までに反映できるところは反映していただきたい。今回は資料が多いので追加のご意見があれば事務局まで連絡して欲しい。</li> </ul> <p>■その他</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の会議は12月22日(火)13:30 町民ホールで開催。次回は最終的な素案の確認・検討をいただく。その後、パブリックコメント・答申を経て議会へ上程させていただく。</li> </ul>
<p>8 閉 会</p>	<p>高坂副会長</p>

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和2年12月10日 署名委員 吉野 敦

令和2年12月10日 署名委員 荒井 忠正